

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
スポーツ健康学科三年制 ビジネスコース											
メディア2											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	角田知義			実務 経験	有	職種	クリエイティブ・ディレクター				
授業概要											
メディア1で学んだメディアリテラシーを基盤に、テレビ映像やスポーツ報道の内容分析を行いながら、効果的な伝達方法について学びます。											
到達目標											
前期で習得したメディアの理解を更に推し進める為に、現代社会における技術発展によってもたらされた、マスメディアからパーソナルなメディア重視への社会変化を理解し、個人の中で活用できるメディア・リテラシーの力を構築することを目標とします。											
授業方法											
この授業はメディア・リテラシーを理解、習得をするための「基礎的な言葉、概念、隣接分野の知見」等を習得するための座学となります。抽象的な概念で全体像を理解することで初めてメディアの世界と向き合う事が出来ます。その後、スポーツの世界の中でメディアをどの様な形で活躍させる事が出来るのかをシュミレーション等を交え、簡単な演習をしながら理解を重ねて行きます。											
成績評価方法											
成績評価については、筆記もしくはレポートによる試験結果（中間/期末/定期的な提出物など）30%、授業中の参加姿勢/学習意欲（リーダーシップ、積極性、学習に対する向上努力など）30%、出席状況40%とし、授業内における達成度・到達度を総合的に判断して行います。なお、成績評価を受けるためには、全授業の75%以上の出席が必要となります。											
履修上の注意											
日常生活で当たり前のように触れているメディアに対する視点を変える事が必要になります。視点を変えるという事は意識を変えないといけません。単なる批判、無責任な評論は思考の混乱を招くだけです。論理的、客観的にモノを見る目を養う事を重視します。授業中は集中してノートを取り、毎時間必ず「授業振り返りシート」を提出します。授業時数の4分の3以上出席しない者は評価を受けることができません。											
教科書教材											
レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。											
回数	授業計画										
第1回	情報発信の本質を考える（1）：メディアを通して、伝えたい内容を分かり易く、しかも個性的に伝える方法を学びます。										
第2回	情報発信の本質を考える（2）：メディアを通して、メッセージや出来事の魅力を客観的に表現する方法を学びます。										
第3回	メディアの可能性（1）：マス・メディアからSNSへのメディアの変質について学びます。										

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
スポーツ健康学科三年制 ビジネスコース	
メディア 2	
第4回	メディアの可能性(2) : メッセージやメディアの変質過程について学びます。
第5回	メディアの可能性(3) : SNSを活用するために知っておくべき、SNSの本質とその危険性について学びます。
第6回	スポーツとコミュニケーション(3) : スポーツにおける、ファンへのメッセージについて学びます。
第7回	スポーツとコミュニケーション(4) : スポーツにおける、スポーツからの人々の健康へのメッセージについて学びます。
第8回	スポーツとコミュニケーション(5) : スポーツにおける、スポーツからの社会へのメッセージについて学びます。
第9回	スポーツと地域広報力を考える(1) : 「スポーツと地域活性化」をテーマとして、そのコンセプト作成方法について学びます。
第10回	スポーツと地域広報力を考える(2) : 伝えたいストーリーを基に、コンセプトをストーリーにする方法を学びます。
第11回	スポーツと地域広報力を考える(3) : 文字表現、文章表現を考えながら、コンセプトをキャッチコピーにする方法を学びます。
第12回	スポーツと地域広報力を考える(4) : 視覚的(映像)、聴覚的(音楽)な要素を考えるイメージ戦略について学びます。
第13回	スポーツと地域広報力を考える(5) : アイデアを出すための思考方法について学びます。
第14回	スポーツと地域広報力を考える(6) : スポーツでの地域活性化、メディアの果たす役割について学びます。
第15回	後期まとめ : 講義内容での学習内容について要点を確認し、期末試験に向けた復習を行います。